

専 門 教 育 系	第 2 専 門 (いずれか1 つの群を選択 する)	第1群(航海) 地文航海学, 天文航海学, 電波航海学, 航海計器学, 運用学, 海事法第1, 海難救助学, 海洋気象学, 船舶工学, 船用機関工学, 通信工学, 流体力学, 電波法規  第2群(機関) 材料力学, 工業材料学, 機械工学, 工作実習, 機械実験, 機械力学, 機構学, 機械設計, 製図, 自動制御第1, 蒸気機関学, 内燃機関学, 補助機関学, 船舶工業化学, 工業熱力学, 流体力学, 推進学, 機関工学実験, 電気工学, 船用電子工学, 船用電気機械, 電気工学実験, 自動制御第2, 海事法第2  第3群(通信工学) 電気磁気学, 電気回路学, 回路網理論, 空中線工学, 電波伝搬論, マイクロ波工学, 情報理論, 通信工学基礎実験, 電子工学, 電子回路学, 演算工学, データ伝送工学, 電気測定学, 無線設備管理論, システム工学, 電子制御工学, 電子回路学実験, 無線機器学, 電波航法工学, 電波工学実験, 電気通信法規, 通信系統論, 通信実技, 応用数学
	第 3 専 門	訓練, 演習, 実技 (端艇・けん銃・潜水・信号) (全科目を履修) (総合指揮・救急安全等)

表 2 海上保安大学校組織

校 長—副校長—	講 座 人文社会科学講座 自然科学講座 外国語講座 法学講座 行政管理学講座 海上警察学講座 交通安全学講座 救難防路学講座	航 海 学 講 座 運 用 学 講 座 船 舶 工 学 講 座 機 械 工 学 講 座 機 関 工 学 講 座 船 用 電 気 工 学 講 座 通 信 基 礎 工 学 講 座 電 子 回 路 工 学 講 座 通 信 機 器 工 学 講 座	練習船「こじま」 —教務部—教務課 —訓練部—学生課, 訓練課 —図書館 —事務局—総務課, 会計課, 職員相談室 —医務室
----------	--	---	---

## 福島大学 経済学部——東北の経済・商学の魁

### 1. 東北地方の経済・商学教育のパイオニア

福島大学経済学部の歴史は、大正10年設立の旧制福島高等商業学校にさかのぼることができます。当時の福島市は、東北地方の主要産業の1つであった絹業の中枢であり、同地方の商取引の中心的役割を果たしておりました。このため、日本銀行が東北地方で最初に支店を開き、福島高商がこの地方の商業・経済に関する唯一の高等教育機関として設立されました。

昭和19年、福島経済専門学校、昭和24年、学制改革により福島大学経済学部となり、昭和51年には大学院経済学研究科、そして昭和61年には大学院経営学研究科が設置されました。キャンパスは、初め福島市森合の地にあったのですが、教育学部と統合するために、昭和56年に福島市松川町に移転しました。新キャンパスは、吾妻・安達太良を望む丘陵地にあり、緑に囲まれた閑静な環境のもとにあります。

### 2. 多彩な教育内容

本学部は、経済・経営両学科のもとに、高商以来の伝統を引き継ぐ経済学、経営学、会計学、新しい分野としての管理科学、情報処理、そして関連分野としての法学、政治学等、多彩な教育内容を誇っております。今日の情報化社会に対処すべく、管理科学科の構想もあつたのですが、大学院経営学研究科の設置が先とのことで、残念ながら未だ目の目を見ておりません。しかし、大学院経営学研究科の設置に伴い、何人かの有能なスタッフの加入を得て、OR教育の基盤は整いつつあるといえましょう。

OR教育を狭い意味から見るならば、豊富な教授陣に比べ、その陣容は必ずしも厚いとはいえません。しかし経済学部におけるOR教育という観点から見るならば、1つの方向を示すことができます。ここで、ORに多量なりとも関係あるものも含めて、ORの教育体制を担当

者と研究教育テーマという形で、表1に示しておきます。

本学部の特徴は、少人数でのキメの細かい教育にあります。したがって、学生諸君は、2年次後半から4年次まで、ほぼ全員ゼミナールに所属します。ゼミナールにおいては、教官と学生とのマン・ツー・マンな対応により、輪読形式で基礎学力を養うとともに、勉学の成果を卒業研究へと結実させます。最近の傾向として、ORに直接関係するゼミナールについては、コンピュータを用いた卒業研究がほとんどといえます。

### 3. 充実が望まれる計算センター

本学は、そのキャンパスが経済、教育と両学部に分れていたとき、昭和43年に全学的共用施設として、経済学部に計算センターを設置しました。そのときの機種はTOSBAC 3400でした。昭和56年には、経済・教育両学部の統合を機にUNIVAC 1100に更新しました。計算センターは、伝統的に経済学部に間借りしていましたが、昭和60年10月をもって、新しい計算センターの建物が完成しました。しかしながら、この機に計算機の主記憶が若干アップしただけであり、計算機関係の講義を希望する学生数に比べ、TSS端末の数が依然として足りない状態にあります。そのため、近々パソコン端末が、教育用として48台、研究用として2台導入される予定になっております。

本学部は、これまで、東北地方において、経済・商学のパイオニア的役割を果たしてまいりました。しかし、これからは、情報化社会に即応した教育が望まれると思っている次第です。  
(鈴木康彦)

表1 担当者と研究教育テーマ

担当者	テーマ
興津 洋一	理論経済学の諸問題
佐藤 壽博	理論経済学, 分配理論
大谷 龍造	理論経済学, 経済変動論
箱木 禮子	理論経済学, 産業組織論
漆崎 健治	貨幣経済理論, 金融理論
鈴木 善教	理論経済学, 厚生経済学
箱木 眞澄	国際経済の数量モデル分析
森 徹	財政問題に関する実証的研究
野口 和也	経済分析と統計的方法
田川 克生	経営経済学の諸問題
* 森平爽一郎	経営および企業財務論, 投資論および金融機関経営論
新家 健精	統計的意思決定理論
* 鈴木 康彦	OR, 線型計画法(特に, 分解原理), 多目的計画法
* 星野 珙二	経営事象の数理的解析, 電子計算機によるシステムの分析
小暮 厚之	経営統計, 確率分布の研究
高田 敏文	財務会計とコンピュータ
美馬武千代	コンピュータによる会計システムの設計

注) \*印は、OR学会会員を表わす。

## 次号予告

### 特集 AIの推論とOR

ファジイ推論	廣田 薫 (法政大学)
定性的推論とその応用	山口 高平, 他 (大阪大学)
知識処理のための推論高速化技法	増位 庄一 (日立製作所)
時制論理とペトリネット	本位田真一, 他 (東芝)
仮説的な推論——TMS, ATMSとその応用	寺野 隆雄, 他 (電力中研)